
[成果情報名] トルコギキョウの新系統「福花5号」の育成

[要約] トルコギキョウのオリジナル系統として、花色が黄色で八重咲き、大輪の「福花5号」を育成した。花形が平わん形で花弁数が多く、花のボリュームに優れることから、業務用としての需要が期待できる。

[キーワード] トルコギキョウ、品種育成

[担当部署] 花き部・花き育種チーム、田川農業協同組合

[連絡先] 092-922-4958

[対象作物] 花き・花木 [専門項目] 育種 [成果分類] 品種育成

[背景・ねらい]

本県のトルコギキョウ生産は総生産額8億円、作付面積28ha(平成16年度)で、消費者のニーズに応える品種の育成、並びに種子低温処理等の安定生産技術の開発によって生産が拡大してきた。今後、多様な消費需要に応えるためには、特徴的な色彩を持ち、花形・草姿が良くボリュームがあり、花持ち性が優れるなど、市場評価の高い品種の育成が必要である。中でも、黄色系は品種数が少ないことから、結婚式等の業務需要に対応できる大輪・八重系統の育成が求められている。

そこで、本県の気象条件に適し、花形・草姿に優れた黄色系・大輪・八重のオリジナル品種を育成する。

(要望機関名 : 生産流通課、飯塚農林、飯塚・田川普及センター、(H16))

[成果の内容・特徴]

- 1 . 平成15年に県内トルコギキョウ産地から有望な系統を収集し、約20,000粒の種子を得た。15年秋にこれらの種子を播種し、得られた実生株約14,000株の中から1次選抜によって、花色が黄色で八重と一重の混在した系統150株を選抜した。この系統について、16年春から17年秋まで3回の自殖を重ね、八重系統の固定化を図った。18年3月にこの系統500株を定植し、開花時の形質が安定していることを確認して「福花5号」と命名し、選抜を完了した。
- 2 . 「福花5号」は、花色が黄色(JSTカラーチャートNo.2904:浅緑黄)の八重咲き、大輪系統である。3月定植での開花日は7月17日で、八重系の「ニューリネーションイエロー」より10日、「キングオブスノー」より7日遅い(表1、図1)。
- 3 . 花形が平わん形で、同じ黄色系の「ニューリネーションイエロー」と比較して花弁数が多く、花径が大きいいため、花のボリュームに優れ、茎が硬く、草姿が優れる(表1、図1)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 本系統は、黄色系八重で、花径が大きく、業務需要としての用途が見込まれるため、品種登録出願予定である。
- 2 . 黄色系八重品種は、需要は高いが品種の種類が少なく、本県特産のトルコギキョウとして有利販売を行うことにより産地の活性化が図られる。

[具体的データ]

表1 「福花5号」の開花時の形質（平成18年）

品種・系統	開花日 (月/日)	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	一次 分枝数	茎径 (mm)	花蕾数	花径 (cm)	花弁数	花色
福花5号	7/17	78.6 (5.0)	53.9 (8.7)	11.6 (6.9)	2.8 (21.0)	6.1 (13.0)	10.7 (16.0)	8.2 (3.3)	25.0 (13.0)	浅緑黄
キングオブスノー	7/10	80.2 (5.2)	53.9 (11.0)	10.9 (4.9)	4.8 (18.0)	5.3 (8.1)	15.0 (10.0)	7.6 (3.8)	24.3 (6.8)	白
ニューリネーション イエロー	7/7	84.8 (7.1)	49.1 (12.0)	9.0 (12.0)	1.8 (42.0)	5.2 (5.2)	8.8 (8.5)	6.3 (5.8)	16.8 (16.0)	浅緑黄

注) 1: 耕種概要 17年12月20日播種、18年1月16日まで種子低温処理(10℃) 3月19日まで育苗(昼温/夜温:23℃/15℃)、3月20日定植
 2:()の数値は変動係数((標準偏差/平均値)×100)を示す。
 3: 花色 JHSカラーチャートによる。



図1 「福花5号」の花形（平成18年7月）

[その他]

研究課題名：トルコギキョウの新品種の育成

予算区分：経常・受託(田川農業協同組合)

研究期間：平成18年度(平成15~24年)

研究担当者：山田明日香、谷川孝弘、巢山拓郎、黒柳直彦、坂井康弘